

高村京子県議会報告

2022年11月議会



価格高騰やコロナ対応などの 11月補正予算

開会日に示された補正予算案は71億7300万円余で価格高騰緊急対策を中心として、コロナ対応の高齢者入所施設支援などです。さらに12月9日追加の補正予算案、554億5900万円余が提案され、災害対策や道路補修など国の総合経済対策を土台に防災・減災のための公共事業（来年度事業へ繰り越す16か月予算とも）や全国旅行支援クーポンの発行などが盛り込まれています。各委員会審議のうえ最終日の採決で提案どおり可決されました。

予算も借金も膨らんでいます

11月時点での県予算総額は1兆1341億3200万円余で、公債費は1兆2196億2600万円余です。予算も借金も膨らんでいます。

本会議で「インボイス制度の 中止を求める意見書案」を提案説明しました (12月9日) (裏面をご覧ください)

決算特別委員会で R3年度決算を認定できない旨討論 (12月9日)

新型コロナウイルス感染症やサプライチェーンの混乱、電気やガスをはじめとした諸物価の高騰で県民生活と営業は大きな影響を受けています。

認定できない理由は、新型コロナウイルス対応での検査体制の不十分、医療機関や介護施設での困難な事態に対し支援策は足りない、地域の急性期病床は2015

年から21年までで1447床も削減され、入院体制の弱体化を招いた。生活困窮者や子育て世代への県独自の支援も少ない。またリニア新幹線の工事による関係住民の様々な不安や疑問に対応せず、JR東海任せであくまでも推進する姿勢は看過できないことなどを主張し、認定できないと討論しました。



農業支援と地域電力の視察 山形県議会議場にて (12月22日)

危機管理建設委員会

<建設部>

建設事業者への経営支援を

建設資材高騰による建設工事での影響は深刻です。この4月から10月で生コン110%アスファルト114%、鉄筋が121%も値上げです。県はこれに対応して5200品目の単価の改訂を行い引き続き迅速に対応してゆくと説明がありました。建設事業者の経営維持に向けてしっかりと支援を行い、除雪や災害復旧での役割を発揮していただけるよう求めました。

リニア工事の住民の 不安などへの対応

リニア建設にむけて工事が進められ

ています。

関係住民の様々な不安や疑問への対応については一切報告がないことは問題と指摘しました。トンネル排土への不安も大きなものがあり県として責任ある対応を求めました。

県営住宅

入居時の条件が改善

公営住宅室からは、県営住宅入居時の保証人を求めないことや敷金一括払い(3か月分)の分割支払いができる条例提案があり、来年度から実施されます。生活困窮者に対する支援は大歓迎です。

<危機管理部>

コロナ対応で、入院体制の強化もとめる

11月からのコロナ第8波の感染拡大で、亡くなる高齢者が増えています。

在宅や介護施設などに留め置かれて入院できない事態が起きており、入院比率が高い東信地域の中でも上小地域の状況は特に深刻です。

命を守るために入院できる体制の強化が求められていることを訴えました。

